

## 景況調査 7月～9月期の結果

## 14.2%回復も＝厳しい状況続く

舞鶴商工会議所が実施した第2四半期（7月～9月）の景況調査の結果がまとまりました。前期が過去最悪の指数を記録した状況からは、改善した業種が多かったものの、全ての業種でマイナスとなっており、依然として厳しい状況が続いています。

全体的な業況を示す「全業種」で見ると、今期のDI（注1）はマイナス56.1で、最悪だった前期のマイナス70.3から14.2%改善しています。業種別では、「繊維工業」がマイナス100と横ばい、「卸売業」の31.6%悪化を除いて、残り6業種が前期と比べて改善。改善

した業種の中では「機械金属業」の34.2%回復が目立ちました。

来期見通し（10月～12月）は、マイナス57.9となっており、引き続き厳しい状況が予想されます。

なお、第2四半期の調査対象は中小企業123社、うち99社から回答があり、回収率は80.5%でした。

（詳細は舞鶴商工会議所ホームページでお知らせしています）

## 中小企業景況調査結果 業況DI

(単位：%)

月 業種	令和元年度			令和2年度			
	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	前期比較 (%)	第3四半期 10～12月[注2]
全業種	-24.0	-26.0	-39.2	-70.3	-56.1	14.2	-57.9
機械金属業	23.1	7.7	7.7	-72.7	-38.5	34.2	-45.5
建設業	-31.3	-13.3	-18.8	-47.1	-18.8	28.3	-35.3
繊維工業	-33.3	-33.3	-100.0	-100.0	-100.0	0	-100.0
木材業	0.0	-16.7	-66.7	-75.0	-66.7	8.3	-60.0
水産加工業	-50.0	-50.0	-66.7	-100.0	-83.3	16.7	-66.7
サービス業	-24.0	-16.7	-46.2	-82.6	-68.0	14.6	-68.0
小売業	-62.5	-70.6	-62.5	-80.0	-50.0	30.0	-38.5
卸売業	-9.1	-25.0	-27.3	-41.7	-73.3	-31.6	-80.0

[注1] DIは景気が「良い」と回答した企業から「悪い」を引いた指数

[注2] 令和2年10月～12月期の数値は前年同期と比べた来期見通し

## 常議員、部会長合同会議を開催 府・市へ来年度の 商工施策要望内容を協議 ～JMU対策やコロナ関係を重点～

10月26日、舞鶴商工会議所の常議員会と部会長会議を合同で開催しました。この会議には、小西会頭をはじめ、安達・今安・一盛副会頭や常議員と部会長など29人が出席。令和3年度の京都府と舞鶴市への商工施策に関する要望内容について協議しました。

会議に提出された部会の案件については、「機械金属」など業種別の10部会が、事前に行なった「“コロナ”アンケート調査」の結果を含めて役員会で精査し、会員の声として挙げられたもので、各部会長



10月26日の常議員・部会長合同会議（舞鶴商工会議所）

が内容を説明。その後の協議では、重要性や緊急性をふまえ、優先順位などについて議論しました。

今回の商工施策要望については、さらに検討を加えるとともに日程等を決めて、京都府と舞鶴市に対し要望書として提出することになっています。